

すぎな園

だより

令和3年7月1日発行 第170号

住所：松山市北吉田町77-95

TEL：974-8310

FAX：974-8340

メールアドレス：suginaen.0704@song.ocn.ne.jp

ホームページアドレス：www.m-tsunagu.jp/

花火～戀夏の風物詩～

夏の風物詩といえば『花火』。全国各地で花火大会が催され、大勢の人で賑わいます。

ドーンという大きな音に心が躍り、夜空に花咲く色とりどりの輝きにわくわくしてしまいますよね。また家族や仲間と一緒に庭先でする花火も楽しいものです。

さて、花火はいつ頃からあったのか、花火大会のルーツとは… そんな豆知識を知っておくと、また一味違った楽しみ方が出来るかもしれません。

※花火の歴史

花火の元である黒色火薬は中国で発明され、相手を威嚇したり火事をおこしたりする武器として使われていました。やがて通信手段の『のろし』が夜にも用いられるようになり、火薬を煌めかせる技術が花火へと発展していきました。

鑑賞用の花火は、14世紀にイタリアで作られたといわれ、その後大航海時代に各地との交易が広まるのとともに世界中に伝わっていきました。

日本では1543年種子島に火縄銃とともに火薬が伝来し、以降国内で製造されるようになったといわれていますが、鑑賞用の花火が登場してくるのは、戦乱の治まった江戸時代になってからのことです。

古くは1589年に伊達政宗が鑑賞したとか、1613年にイギリスの国王の使者が駿府城の徳川家康を尋ね、持参の花火を見せたという記録があります。この時家康が見たのは竹筒に火薬を詰めて火を噴くだけのものですが、三河地方に残る『手筒花火』はこの名残だといわれています。その後花火は急速に発展し、江戸で開花していったのです。

※江戸の花火

花火は将軍家をはじめ諸大名の間で流行し、江戸の大川端（現在の隅田川）の下屋敷での年中行事となりました。やがて町民の間にも流行し、花火師や花火売りが登場しましたが、花火が原因の火災が多発したため『花火禁止令』が出され、花火を行なう場所は川端（隅田川）のみ許可されることになりました。

その後、1732年に全国的な飢饉とコレラが流行し多数の死者が出たため、1733年の川開きで慰霊と悪疫退散を祈願する水神祭が催され、盛大に花火が披露されました。これが『両国川開き花火』（隅田川花火大会の原型）の始まり、つまり花火大会のルーツになります。

毎年楽しみにしている花火大会ですが、今年も早々に各地の花火大会が中止されるとの決定がありました。花火大会のルーツは『慰霊と悪疫退散』祈願とのこと。来年はコロナウイルスが落ち着き、それを祝って全国各地で盛大な花火大会が開催されることを願っています。



文責：岩井 香織

帝人労働組合松山支部様より、寄贈して頂きました！

「UAゼンセン化学部」では、組合本部・支部の青年女性委員を中心に、昭和50年以来一円玉募金運動に取り組んでいます。この運動は旧帝人化繊部女性会議が中心となつての「物を大切にしよう」というキャンペーン運動に端を発し、その中で、ともすれば引き出しの片隅に眠ってしまいがちな「一円玉」に光を当て、その積み重ねが社会福祉の一端でも担えたら、との女性委員の提言に基づいて発足したものです。

今回、全国から集まった善意の募金を帝人株式会社 帝人労働組合松山支部様を通じて、すぎなに金一封して頂く運びとなりました。

この場を借りて関係者各位に厚く御礼申し上げます。利用者さんの有意義な活動に活かせるように大事に使わせて頂きます。この度は本当にありがとうございました。



海ごみゼロウィーク 2021

みなさん、海ごみゼロ運動をご存じでしょうか？海洋ゴミとして海に漂うプラスチックゴミが環境や生態系に多大な悪影響を及ぼしている事が大きく取り上げられるようになり、海洋ゴミの削減をしていく事が大事と言われます。海岸や河川等のゴミを拾っていく事で、少しでも海ごみが無くなる事を目指す運動です。すぎな園も毎日海の近くで活動する時に、ゴミの多さには辟易していたので、今回この運動に参加してみました！

ゴミを集めて回る人・集まったゴミを分別して袋に入れていく人、それぞれに分かれて、出来る事を頑張ってくれました。海辺近くまで降りてみると、流れ着いたゴミの多さに改めて驚かされ、この一時間ちょっとで集まったゴミの量はおよそ軽トラック一台分程の量でした！少しはいつもお世話になっている海に恩返し出来たかな？



すぎな園の作業紹介「古着回収」

すぎな園ではいろいろな作業を実施しているのですが、どんな作業をしているのかあまりご存じないのではありませんか？そこで、すぎな園の作業を紹介していきたいと思ひます。今回は「古着回収」です。

古着回収は、賛同して頂いた店舗（フジさんとダイキさん、セブンスターさんなど）や松山支所の一面にボックスを設置して、地域の方々が不要になった古着や廃油などを集めた物をリサイクルに回していく事で、障がいを持つ方々の働く場所の創設や工賃アップにつなげていくという事業です。松山市内の障がい者事業所が運営する「ハートフルプラザ」各事業所が手分けして毎日古着の回収や、業者（カネシロさん）まで納入しています。すぎな園でも各店舗によって回収日はまちまちですが、月～金と日曜日に古着回収を実施しています。

みなさんも不要な衣類がありましたら、お気軽に回収ボックスを利用して頂くか、直接すぎな園までお持ちいただいても大丈夫ですので、ご用命下さいませ()



新しい職員の方です。



はじめまして、6月からお世話になっている宮岡 美涼です。少しずつ皆さんの名前を覚えて一緒に楽しく活動していきたいです。よろしくお願ひします。



7月2日 (金)	外出活動	【アクアパレット、プール】
7月7日 (水)	料理活動	ぞうさん班
7月9日 (金)	外出活動	【道の駅ふたみ】
7月13日 (月)	料理活動	ミッキー班
7月16日 (金)	外出活動	【ラ・ルーチェ、ランチ】

7月22日 (木)	海の日
7月23日 (金)	スポーツの日
7月20日 (火)	料理活動 さくら班
7月27日 (火)	料理活動 ほし班

文責：岡本 久美子